

今月号の

# 締め一杯

白河は全国的にも知られるラーメン処で、市内には100軒を超す店が点在しています。ラーメンへのこだわりを持ち、おいしさを追求する店主たちの思いを紹介します。

第10回

## 奥州白河 太鼓のぼお



住所：旭町2丁目58-5  
営業時間：11:30～19:30（品切れ次第終了）  
定休日：月曜日（祝日の場合不定休）

平成16年に国道4号沿いの弥次郎窪で創業。その後、平成22年に現在の旭町に移転しました。

「太鼓のぼお」という店名は、どんぶりと箸を太鼓とばち（棒）に見立てて付けたもので、元洋食料理人の店主芳賀一さんと妻の美香さんが店を営んでいます。

洋食屋時代からの「料理人であるなら化学調味料は使わない」をモットーに、こだわりのラーメンを作り続けています。

次々と新しいアイデアが浮かんでくるという店主のおすすめは「アンチエイジングらく麺」。こはく、どう・こんかつせ。豚ガラ・鶏ガラ・乾物・野菜などを煮出した秘伝のスープ「琥珀」に、トマトやチャーシュー、玉ねぎのスライス、パセリ、オリーブオイルなどを加え、爽やかな風味が広がる女性にうれしい一品です。

麺は独自のかん水で作る歯ごたえのある手打ち麺。ローストビーフのような柔らかさの自家製炭火焼きチャーシューも人気です。

「空の器が戻って来たときが何よりうれしい。ラーメンを通じ人とのつながりが生まれることも幸せ」と芳賀さんは話してくれました。

## 人物Report

～注目のあの人を紹介～

仁平 澄也 さん

昨年8月に岡山県で行われた、全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会男子学校対抗・男子個人対抗ダブルスで見事優勝した中央中出身の仁平澄也さん（埼玉栄高3年）。

5歳から兄の影響でバドミントンを始め、小学校2年生で全国大会優勝を果たし、中学校3年生からはジュニア日本代表のメンバーとして世界大会にも出場しています。

「バドミントンはラリーとスピードが魅力。ミスをしなため練習を積むことが大切」と語る仁平さん。4月からは大学で新たなステップを踏み出し、オリンピック出場を目指します。



《白河市ホームページ》



最新の情報をチェック

《マチイロ（旧i広報紙）》



アプリで情報チェック

《白河市公式ページ》



旬な話題をチェック



「広報白河」は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。